



今回は6月19日にCafeにの
木で『青年のつどい』に参加され
た24名
の中から「西川紗希さん」と「田村
ゆいかささん」にお話を伺いました。



自己紹介をお願い致します。

(西川さん) 千葉から和寒に帰ってきました。地元を盛り上げるため、日々奮闘中です。よろしくお願ひします！

(田村さん) 今年の4月中旬に神奈川県から来ました。神奈川県では看護師や助産師として働いていましたが、現在は半年間の予定で西川農園さんにお世話になり、農業と畜産をしています。

青年のつどいに参加したきっかけは？

(西川さん) 実家のスタッフからイベント情報を聞き、町民とも交流を深めたいなと思ったからです。(田村さん) お世話になっている西川農園さんの娘さんが参加すると聞き、それなら私も一緒に行ってみようと思ったのがきっかけです。

参加してみたいか？

(西川さん) 新たなコミュニティと繋がることができ、参加してよかったなと感じています。

(田村さん) 初めてバンドネオンの演奏を聴き、その金属的でシャープな響きに魅了されました。とても複雑な仕組みで演奏も難しい楽器のはずですが、それを感じさせない、引き込まれるような演奏で感動しました。和寒に来てまだ日も浅く、繋がりも少なかつたのですが、皆さんと楽しくお話もでき、良い時間を過ごせました。



(左)バンドネオン奏者 早川 純 様
(右)バイオリン奏者 谷川 虎太郎 様

取材を通して

和寒町に住む20代から40代までの方が一堂に集い、普段あまり聴く機会のないプロの演奏を聴きながら世間話や近況報告などができる素敵な場が設けられたことを、参加者としても本町に住む青年の立場としてもうれしく思うとともに、関係者の方に感謝申し上げます。このような若年層の方を主役とする場が定期的に設けられ、活気あふれる町になることを切に願っています。



広報委員の一言

稲や蕎麦の花が咲き、かぼちゃのツルがいよいよ伸びる季節となりました。季節ごとに違う顔を見せてくれる和寒の景色に、いつも心を奪われます。

議会だよりの編集に携わり始め、議会の動きをわかりやすく伝える事の難しさと大切さを実感しています。

広報コンクール4回目の入選を励みに、今年度も広報モニターの皆様の声を活かしながら、より読みやすく親しみやすい誌面づくりに努めてまいります。(裕子)

議会傍聴のご案内

定例会の予定
9月17日・18日

みなさまのお越しをお待ちしています

6月定例会の傍聴者
4名

